

議 事 録

件 名		令和6年度 第1回 久留米市男女平等推進センター運営委員会
日 時		令和6年8月23日（金） 10:00～11:30
場 所		えーるピア久留米 210・211研修室
出席者	委員	堀田委員、矢ヶ部委員、伊崎委員、松本委員、 近藤委員、佐藤委員、寺崎委員、中尾委員
	事務局	酒井、大場、菅山、蓮尾（男女平等推進センター）
	ワザパー	高口、水落（男女平等政策課）
欠 席 委 員		末崎委員、徳永委員、樋口委員、永松委員、笠委員
傍 聴 者		0名
配 布 資 料		・【議事（1）】 令和5年度 事業概要 ・【議事（1）】 令和5年度 施設の利用状況 ・【議事（2）】 令和5年度 主な啓発事業の実施状況 ・【議事（3）】 令和6年度 事業実施概要（6月末現在） ・【議事（3）】 令和6年度 施設の利用状況（6月末現在） ・【その他（1）】 えーるピア久留米ZEB化改修について ・（レジメ裏面）第12期 久留米市男女平等推進センター運営委員会 委員名簿
議 事 内 容		
1 開会		
2 議事		
（1） 令和5年度 事業の実施状況について 施設の利用状況（3月末現在） 事業実施状況（3月末現在）		
（2） 令和5年度 主な啓発事業の実施状況について		
（3） 令和6年度 事業の実施状況について 施設の利用状況（6月末現在） 事業実施状況（6月末現在）		
3 その他		
（1） えーるピア久留米ZEB化改修について（報告）		
4 閉会		

議 事 内 容

・（質疑応答・要望）

（１）令和５年度 事業の実施状況について

- ・施設の利用状況（３月末現在）
- ・事業実施状況（３月末現在）

（２）令和５年度 主な啓発事業の実施状況について

（委 員）図書情報ステーションが所蔵している書籍や雑誌について、除籍やリサイクルなどほどの程度の頻度でしているのか。

（事務局）雑誌などは、破損等古くなるにつれて劣化することが多い。そういったものに関しては一定の基準を設けて処分している。一方で、破損の程度によってまだ読めると判断した雑誌については定期的に市民の方に無料で配布している。

（委 員）子育て講座は男性参加者が０であるが、なぜか。

（事務局）子育て講座は、子育て中の女性を対象として「子育てママ」講座として実施している。これは、子育て中の女性に対し、性別によるアンコンシャスバイアスへの気づき、将来を見据えた人生設計を考える機会を提供することを目的としている。そのため対象を女性限定としている。

（委 員）まちづくり講座は北野で実施したとあるが、田主丸や城島などほかの地域での実施予定はあるか。

（事務局）まちづくり講座は、希望団体からの申込を元に行っているものである。例年、地域コミュニティ組織の会合等にて事業の広報や周知をしている。申し込みにより実施する。

（委 員）地域コミュニティにおける女性役員登用率向上のために地域でのまちづくり講座を実施しているとあるが、講座終了後女性役員の割合は増加したか。

（事務局）実際に正確な調査をしたわけではないが、初年度に行った安武校区では女性役員の割合が増えたと聞いている。

（委 員）長く事業を実施する予定であれば、実施前と実施後での割合の比較の調査をした方がよい。（要望）

（委 員）女性が役員等になろうとするときに、経験の少なさを理由に尻込みする傾向はあると思う。そういった面の解消としてこの講座は有効だと思われる。一方で、女性が役員に選出される際、女性には家事育児等があるからと、反対の声があがることも未だにあると聞いている。やはり、男女平等意識の啓発が重要だと思われる。並行して、女性リーダー育成にも力を入れてほしい。（要望）

（委 員）基礎講座について。女性が漠然と抱えているジェンダーを理由とした違和感。これを明確に説明でき、社会がどう変わればいいのか、自分たちに何ができるのか、そこまでを話せる講師を希望する。今、若い世代に一番関心があるのは生涯賃金の件だと思われる。扶養控除の所得上限であったり、高齢単身女性の貧困であったりと非常に大きな課題がある。それをじっくり考えられる講座、こういったものがあったら良いと思う。（要望）

（委 員）身近なところで、離婚を考えた際に離婚後の収入面が問題で離婚ができなかった事例がある。そういった事例を若い人に話していくのも重要だと思う。また、10月から社会保険の制度が変わるが、多くの女性が社会保険に入った方がよいかで迷っている。長期的に見れば年金が保証されるが、短期的に見れば保険料の支払いで収入が減少する。専業主婦が当たり前の環境で過ごしていると、少し自分が社会保険に入るまで働くことに躊躇される方が多い。そういった部分の悩みを後押しできるような講座を希望する。（要望）

（委 員）若年層の参加が少なかったとの報告があるが、SNSアカウント等の開設、活用の検討は

行っていないのか。拡散力は非常に高いと考えられる。

(事務局) 現時点では考えていないが、今後の参考にさせていただく。

(委員) 女性の賃金問題はやはり非常に大きな課題と捉えている。高齢者には専業主婦の家庭も多い。女性が働くか働かないか、これでどれだけ生涯の世帯収入に差が出てくるのか。具体的な数字と共に説明できる講座を希望する。(要望)

(3) 令和6年度 事業の実施状況について

- ・施設の利用状況(6月末現在)
- ・事業実施状況(6月末現在)

(委員) 歳入予算について、国の交付金である地域女性活躍推進交付金は女性の起業応援セミナーに充てているのか。

(事務局) 地域女性活躍推進交付金については働き方応援事業の一部であり、働き方応援事業として全体に充てている。

(委員) 地域女性活躍推進交付金を基礎講座に使うことは可能なのか。

(事務局) 基準によるが、ワーク・ライフ・バランス講座など働くことに関する講座については充てている。

(委員) 働き方以外の講座については充てることはできないのか。

(事務局) 人権同和補助金を一部の基礎講座に充てている。

(委員) DV問題はやはり深刻なものだと考えられる。市の考えを聞きたい。

(事務局) 久留米市ではDV行為を重大な人権侵害として捉えており、センター開館当初からDV・性暴力防止とそのソーシャルワーク的支援、相談員の育成などに力を入れている。DV相談件数はコロナを契機に増加し、コロナが落ち着き始め、相談件数が減少するかと考えていたが、高止まりが続いている。これはDV被害の増加もあるが、身体的暴力以外の精神的暴力などの様々なDV被害の認知度が高まり、相談に繋がりやすくなったことも一因にあると考えている。DVに関する相談支援は多岐にわたる。今後も防止啓発と支援をしつかり行っていきたい。

その他(1). えーるピア久留米ZEB化改修について(報告)

(委員) 前回いただいたスケジュールより工期が1カ月遅れているが、なぜか。

(事務局) ZEB化工事についてはえーるピア久留米の所管課である生涯学習推進課が行っている。工期が遅れた理由としては入札で不落となり、再入札を行ったためと聞いている。

【質疑終了】